

(別紙)

平成25年10月29日

試用評価の依頼書

1. 依頼者の概要

事業者名	アリスベッド株式会社		
担当者名	金井純代		
担当者連絡先	住所	東京都新宿区三栄町23番地	
	電話	03-3226-5951	
	電子メールアドレス	info@alicebed.co.jp	
主たる業務	介護、健康用品の製作、販売		
主要な製品	在宅療養者とそれに係る方の排せつ用具、健康用品		
希望する施設等の種類、職種	在宅で介護をした経験や現在介護中の家族のグループ		
希望する評価地域	東京都その周辺		
その他			

2. 試作機の概要

機器の名称 (仮称)	在宅介護用トイレシステム
機器の写真	<p>スリムレット</p> 

劇的空間



楽々シート



機器の目的及び特徴

- a) ポータブルトイレ（スリムレット）便座がマットレスの延長で体が離れない為、移動時の危険と介護者の労力軽減が可能。
後始末も前後から充分なお湯の洗浄が可能。洗浄器としても使う。
- b) 多機能マットレス（劇的空間）
- ・ マットレスの空間を使い自力で排せつの準備と始末ができる。
 - ・ 安心してうつぶせ寝が可能。うつぶせはリハビリと肺炎の治療、予防。
 - ・ 痰の切れがよくなる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・便秘、残尿の解消 ・筋関節の拘縮改善、精神の安定などに効果が大きい。 <p>介護予防には最適である。</p> <p>C) オムツ交換楽楽シート（オムツ交換これ一枚） オムツに便を察知したら中を開けずにシートを下に敷きそのままオムツを丸めて捨てその後シャワーで洗い流せるシート。バケツで洗浄後のお湯を受ける。 極力便つきオムツに触れない、見ないですむ。</p>
想定する使用者	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の排せつ介助で辛い思いをしている本人とその家族。 <p>尿便意があり頭がしっかりしている方が間に合わない理由でオムツ排せつしている方。オムツで締め付けられてストレス。オムツ交換時間が気になり外出できない介護者。オムツ交換がストレスになって不定愁訴を抱える介護者。</p>
想定する使用方法や使用環境	<p>個別対応ができる在宅にあって排せつ方法に決まりはない。不衛生と危険さえなければどこでどう出すかは個人の自由。それが在宅の良さ。自分流で廃用にならない方法を考えることに意義がある。パットをあてがうもよし。タオルで尿を受けるも自由。新聞紙、古い下着も使える。回りが汚れたら洗濯してもらえばいい。</p>
開発に至った背景	<p>疾病や高齢などでトイレ移動が不自由になっても自立排せつする為に使える体の機能を利用して独力で排せつできるようにした。たとえば右手が使えればその手でパットなどをあてるなど。多くは尿便意があっても間に合わない理由でオムツですませている。</p> <p>その方法として間に合う場所にトイレを用意できるようにした。ADLの変化に応じられる各種のトイレを利用することで廃用症候が防げる。</p> <p>2 お世話する人、施設、お金が足りない現状を打破する為に、される人の潜在的にもつ能力を引き出し自らも努力して自力排せつできる環境を（汚したら洗える、好きな汚物受けタオルなど）提供できる用具の必要を感じた。</p> <p>3 介護者が不自然な体位で抱き上げたり中腰でのお世話を放置できなかった。又便まみれのオムツ交換もどちらが虐待か解らぬほど過酷である。見過ごせなかった。</p>
現在の開発状況	<p>多くの在宅ケアの経験者からの意見、思いを聞いて作ったので機能、使い勝手には問題ないところまで完成している。あとは個人個人の好みにより近いものに改良していく。</p>
現在の課題	<p>新規開発品ゆえ製作ロットが少ない。職人による手作りなのでコスト高になる。低価格になる為にも普及させたく思います。</p>
試用評価にあたって、特に評価してほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・尿便意があっても体の一部に障がいがある方でも自力で排せつ可能か？ ・介護者の負担軽減につながるか？
その他	<p>介護を受ける一番の原因は脳血管障害者です。四肢麻痺は少なく片麻痺なら自力排せつは可能です。在宅サービスで最も費用がかかる介護はオムツ交換です。ここで自己資源をフルに使わせ有効に介護保険を利用したいです。</p>